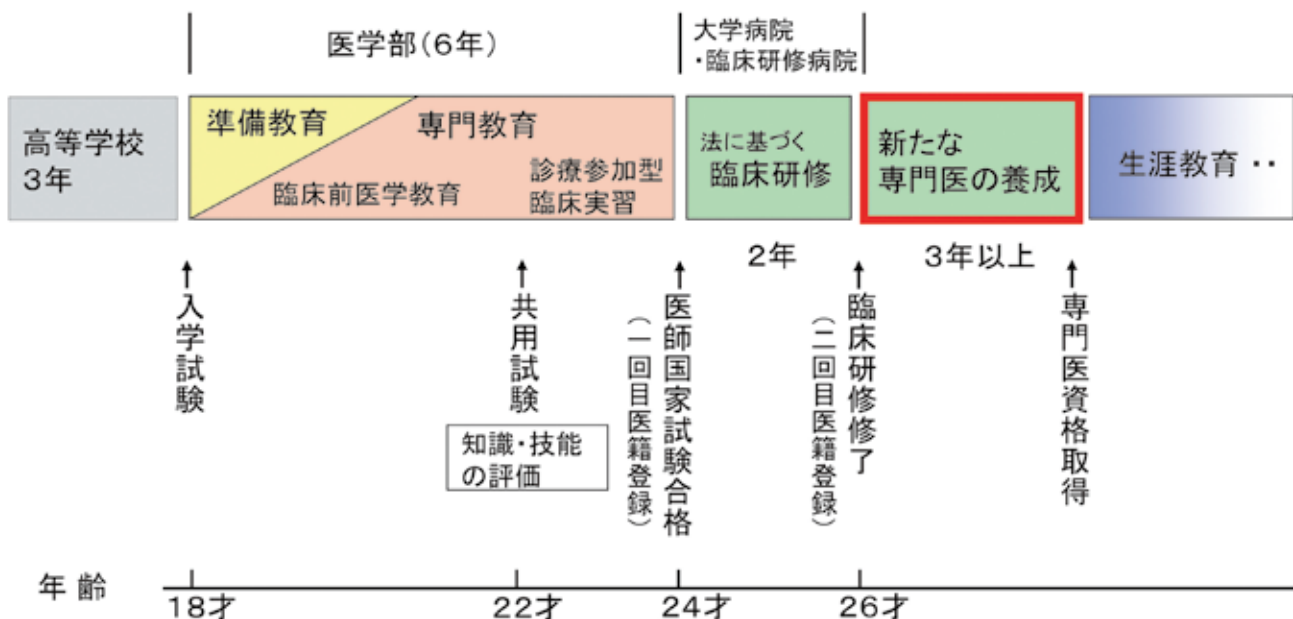


新専門医制度の概要

新専門医制度の基本理念と意義

- 研修プログラムを充実させることにより、医師の診療能力が高まる ー 専門医の質を保証できる
- 医師が自ら修得した知識・技能・態度について公の認定を受け、それを社会に開示出来る
- 患者が診療を受けるに際し、受診する医師の専門性の判断が出来る ー 国民に広く認知
- 医師の役割分担を進めることにより、効率よい医療システムの確立に役立つ
- 「プロフェッショナル集団としての医師」が誇りと責任を持ち、患者の視点に立ち自律的に運営する制度

新たな専門医の養成について

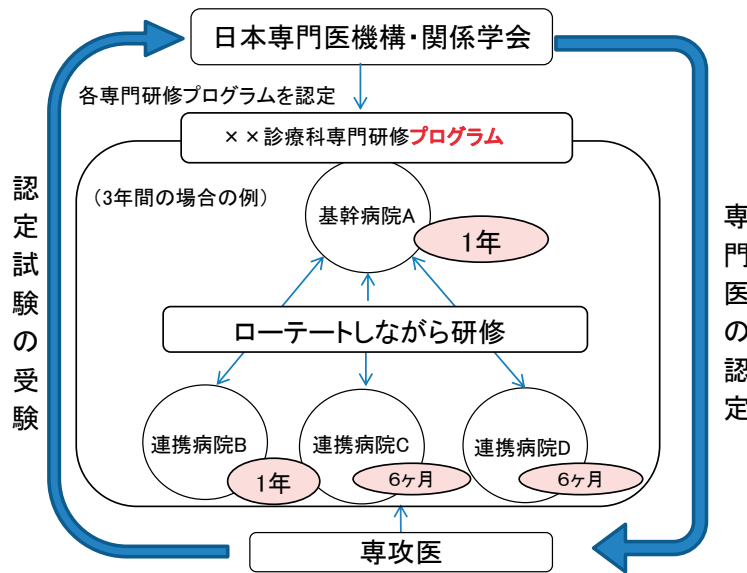


新専門医制度におけるプログラム制とカリキュラム制

プログラム制

日本専門医機構が、指導医数、症例数、研究業績等の基準を満たす研修プログラムを認定し、研修医は基幹施設・連携病院をローテートして研修

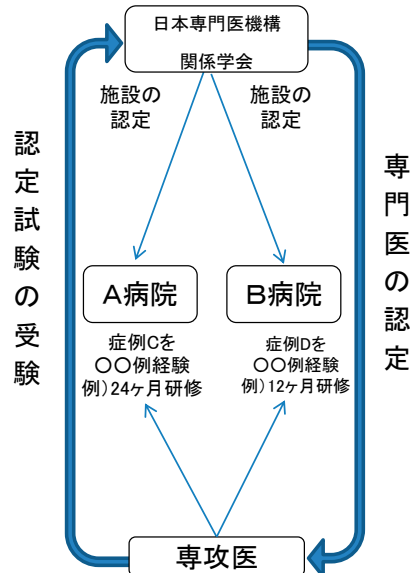
【受験資格】プログラムに基づき、症例を経験しながら研修施設をローテートすること等(研修期間や研修病院が設定されている)



カリキュラム制

学会が、一定の基準を満たす病院を研修施設として認定し、研修医は個別の研修施設を選択して研修

【受験資格】症例Cを〇〇例、症例Dを〇〇例経験したこと等(研修期間は下限のみ設定、研修病院に制限はない)



専門医の基本領域とサブスペシャリティ領域

(日本専門医機構の基本領域とサブスペシャリティ領域)

(二段階制に基づく、専門研修の領域選択の例)

